

## 令和5年度地域活性化活動助成事業活動概要

萩市立小川小学校

◇活動名 小川のなしやぶどうを日本中に広めよう

### 1 はじめに

萩市小川の特産品である梨やぶどうなどの果物のおいしさを全国に向けて発信することをねらいとして、3・4年生が総合的な学習の時間の中で本活動に取り組むことにしました。

### 2 活動の内容

#### (1) 梨とぶどうの育て方について学ぼう

小川小学校の校庭には梨とぶどうの樹があり、毎年、多くの実を収穫することができます。今年、樹のお世話をすることになった3・4年生の子どもたちは、育て方について、中島農園の方に教えていただきました。



#### (2) 発信する方法について考えよう

子どもたちは学校運営協議会委員の方と熟議を行い、小川の梨とぶどうのおいしさを全国に向けて発信する方法について考えました。その中で、「小川の梨やぶどうのおいしさを伝えるために、道の駅で宣伝する」や「学校のHPに掲載し、おいしさを伝える」、「梨とぶどうを使ってスイーツを作り、たくさんの人に食べてもらおう」など、多くのアイデアが生まれました。



#### (3) 小川の絶品スイーツを作ろう

社会福祉法人 EGF のスイーツ制作担当の方と一緒に、梨とぶどうを使ったスイーツを考案し、スイーツ作りに取り組みました。ぶどうジャムとカステラ、そしてクリームが何層にも重なったスイーツが完成したとき、子どもたちは大歓声をあげました。そして、地域の方や保護者の方に試食

していただく中で、「ぶどうのおいしさがつまっているね。」や「小川のフルーツは自慢ですね。」など、あたたかい言葉をいただきました。



#### (4) 梨とぶどうを紹介するカードを作ろう（点字付き）

梨とぶどうのおいしさについて紹介するカードを作りました。そのとき、点字を教えていただいたことを生かし、メッセージを点字に表すことにしました。今後、中島農園から全国に発送される梨やぶどうの箱に、点字付きのカードを入れて届ける予定です。



### 3 おわりに

#### (1) 成果

学校運営協議会委員の方と熟議を行う中で、子どもたちは自分の思いを伝えること、そして、共に考えを出し合うことについて学ぶことができました。子どもたちは、ふるさと小川への感謝の気持ちを高めるとともに、地域を元気にする取組に関わることができた喜びを感じることができました。

また、学校や地域を活性化するために子どもたちが動き出すことにより、思いを共有して活動に関わる地域の方の姿を見ることができました。子どもたちの笑顔、そして、地域の方の笑顔が広がる活動となりました。

#### (2) 課題

今年度の活動がゴールではなく、今後も継続的に実施していくことが必要となります。梨やぶどうのおいしさを伝えるカードを発送することや、学校のHPに掲載し、より多くの人に伝えていく方法について考えていきたいと思います。

最後に、本活動のために貴重な助成金を拠出していただいた山口県教育会様に対して、心より厚くお礼申し上げます。